

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

事業報告 第10号 (2012年度)

★ パル・ピパル学校 第3回目の全国統一試験 (SLC) 結果

2013年の春にバル・ピパル学校の生徒31名が、全国統一試験 (School Leaving Certificate (SLC) / 高校卒業資格) を受験しました。試験結果は、2名が1stレベル(得点60%以上)、20名が2ndレベル(得点45%以上)で、計22名が合格しました。今回の合格率は71.0%で、全国平均合格率41.6% (受験者数511,165名) よりも高い結果です。この様に、昨年に続いて全国的にバル・ピパル学校のレベルが高いことが実証されました。

今回もSLC受験に向けて、生徒も教師も非常に良く頑張りました。来年も良い結果を出すために勉学に力を入れて欲しいと思います。皆様のご支援により優秀な生徒が育ち、本人達も喜んでます。ありがとうございました。

(1) 学用品支援事業・・・就学生へ文具品の寄与

今年度は、年間に必要な文具品を就学生301名全員に寄与しました (表1)。

＜就学生1人に寄与する文具＞

鉛筆、消しゴム、ノート各種、ボールペン及び換芯、万年筆及びインク

表1 文具品を寄与したバル・ピパル学校就学生

学年	性	幼稚園生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
生徒数	女性	8	5	7	10	8	19	19	17	15	28	16	152
	男性	4	11	8	5	16	18	25	14	6	26	16	149
	計	12	16	15	15	24	37	44	31	21	54	32	301

＜対象者の条件＞

- A. サッレ村在住の就学生、またはサッレ村内の学校に通学している他の村の就学生であること。
- B. 進級試験の合格者の場合、学校の出席率が月80%以上 (塾は月90%以上)、不合格者の場合は、出席率が月90%以上 (塾は月100%) であること。
- C. 毎年、各学年の開始時に奨学品希望の申請書を提出すること。

(2) 奨学資金支援事業・・・奨学生の決定及び文具品寄与

今年度は、14個の学校から優秀な奨学生175名が集まり、奨学金が寄与されました (表2)。

例年の通りサッレ村のバル・ピパル奨学財団が各学校に招待状を送り、奨学品の授与式が行われました。

村々から奨学生達、代表教師1人と父母がサッレ村に集まり、今回も文具品が各自に寄与された後、踊りなどで祝いました。

＜対象者の条件＞

- A. サッレ村とその近隣の村に通う就学生であること。
- B. 毎年4月に行われる進級試験の成績順上位4名であること (バル・ピパル学校は上位10名が対象) (表3)。
- C. 毎年1月と9月に行われる中間試験の成績順上位10名であること (バル・ピパル学校のみ対象) (表4)。
- D. SLCで1stレベル(得点60%以上)と秀レベル(得点80%以上)で合格すること (バル・ピパル学校とサッレ村が対象) (表5)。



奨学授与式の看板



奨学授与式の様子



奨学授与式で踊る生徒



奨学品を受け取る奨学生

E. 年末試験の奨学金受領後 1 ヶ月以内

に、好きな小論文を提出すること。

*** 高等教育奨学金支援**

2011 年度から高校卒業後の学生に対する奨学金支援を開始しました。一人目の奨学生は 2011 年度の SLC で 1st レベルで合格した



Khadaka B.K.

学生、Khadaka 君で、サッレ村の低カースト（鍛冶屋）の家庭の息子です。昨年の夏からカトマンズの医学関係の 3 年制

の専門校 Nepal Institute of Medical Science and Technology で学んでおり、学費と生活費の一部として、年間 10 万円を支援しています。

(3) 識字率向上支援事業・・・脱穀機導入の成果

村人達のためにサッレ村に脱穀機を導入した目的は、夜間クラスで学ぶ成人の出席率向上でした。現在では成人達の殆どが読み書きを覚えたため、夜間クラスは開講しておりません。脱穀機の利用で母親達の家事労働負担が軽減されたことにより、家事を手伝う児童達の勉強時間も増え、彼らの学校への出席率向上などに役立っています。

(4) 図書館設立支援事業・・・図書館の建設

2012 年度で、サッレ村に図書館を設立するための準備金の積立金が 100 万円になりました。写真の通りこの資金で図書館を建設し、机、イス、書籍費などを購入しました。

(5) 学校運営支援事業

*** 「サロン・ド・アサミ (Salon de Asami)」による教育ご支援**

「サロン・ド・アサミ」は、音楽や講演など様々な文化活動を行う交流の場です。「サロン・ド・アサミ」代表者の石井氏が募金箱を設置し、サロンをご利用される方々に寄付を募って下さっております。この募金で初等部（1～5 学年）の女性教師 Kanchhi Maya Gurung, Kalpana Gurung と男性教師 Ganga Kuwar の給与支援を行っています。教師の給与額は物価上昇に伴い、ネパール政府により昇給が毎年上げています。村で雇用の教師もそれに合わせて昇給せざるおえず、当初の予定よりも大きな出費となっています。

2013 年 11 月には、石井氏が友人の方々とサッレ村を訪れて、村人と交流しました。

表2 優秀な奨学生

番号	村名	学校名	学年	人数
1	サッレ	バル・ピバル学校	幼稚園～10	100
			SLC	5
2	ダダ	パンチャ・カンニヤ学校	1～5	20
3	ボシ	シャンカ・デヴィ学校	1～12	1
4	ゴラバンジャング	ゴラ・バンジャング学校	1～3	1
5	クマイジャムルング	スタナパティ学校	1～10	1
			1～10	1
6	バルマレ	クマリ・ディビ学校	1～5	1
			SLC	1
7	タリベシ	チャンデソリー学校	1～5	1
8	セラベシ	ジャナバワナ学校	1～5	1
9	ビスタ	アンナブルナ学校	1～5	1
10	シムレ	マンズスリ学校	1～10	1
11	ラマスタン	ラマスタン学校	1～8	8
12	トドケ	パゲソリー学校	1～3	12
13	バンカルカ	カリカ学校	1～3	12
14	ヴォルレ	マナルピ学校	1～10	9
合計				175

表3 奨学文具設定金額（条件B用）

学年	1位	2位	3位	4位	合計
1	100	80	60	50	290
2	200	160	120	100	580
3	300	240	180	150	870
4	400	320	240	200	1,160
5	500	400	300	250	1,450
6	600	480	360	300	1,740
7	700	560	420	350	2,030
8	800	640	480	400	2,320
9	900	720	540	450	2,610
10	1,000	800	600	500	2,900
IRs = 約 1円 年間					15,950

表4 奨学文具設定金額（条件C用）

学年	1位	2位	3位	4位	合計
1～10	25	20	15	10	70
IRs = 約 1円 年間					840

表5 奨学設定金額（条件D用）

1stレベル(First Division:得点60%以上)	10,000
秀レベル(Distinction:得点80%以上)	20,000

IRs = 約 1円



図書館の外観



図書館の内部



現在、サロンの皆様のお陰でこの様に教師を雇用することができ、大変感謝しております。

*** 音楽教育支援**

フルート奏者・故石井朝美氏のご遺族によるご支援で、バル・ピパル学校の生徒達が音楽に親しめるような活動ができるように、2009年2月より10年間に亘って定期的にご寄付をいただいています。

この寄付金で Raj Kumar Prayal という低コスト（仕立屋・音楽演奏業）出身の男性を教師として雇用しました。近況では彼は音楽や英語の授業の他、ダンス大会や祭り・式典などで生徒達のネパールの伝統的な踊りを指導しています。

(6) 広報活動 ①…「フィリピンの友を援ける会」による教育ご支援

このNPOが設立する以前から、「フィリピンの友を援ける会」の皆様には、バル・ピパル学校の土地の購入と建設、教師の給与、生徒の給食・制服・靴の供給、塾の運営、脱穀機の施設などの費用のご支援を頂いてきました。学年数が増えるごとに、それに伴う費用も増え、今日までのご寄付は合計700万円以上にもなりました。

この度、残り1年で会からのご援助が終了致します。このご支援により、バル・ピパル学校の運営が始まり、11年間無事に持続させ、さらに多くの生徒に学びの機会を与えることができました。会の皆様の長いご支援に、本当に感謝しております。

(6) 広報活動 ②…「NPO ブッダ基金」による教育ご支援

ブッダ基金の事業内容の一つ「ネパール山村地域に住む人々への識字教育援助」として、5年間の契約でサッレ村のバル・ピパル学校6~10学年(中高等部)の校舎建設と教育支援をして頂きました。既に10学年までの校舎が増設され、昨年は5名の教師が雇用されました。10学年の増設によって、サッレ村や高校が無い近隣の村の生徒達は遠くのボシ村シャンカ・デヴィ学校へまで長時間歩かなくてもよいので、毎日の通学が非常に楽になりました。

2011年度この5年間の契約は終了致しましたが、2012年度から5年間に教師、給食、医療などの支援を継続すると同時にSLC試験で優等な成績で合格した生徒に対して高等教育を行うために奨学支援を行っていただくことになりました。



Kanchhi Maya Gurung



Kalpana Gurung



Ganga Kuwar



ティハル祭の様子



スポーツ品の贈呈の様子



村人と遊んでいる様子



図書館の様子



ブランコで遊んでいる様子



歓迎会の様子



Pratima BK



Sabina Khatri



Laximi Gurung



Buddha基金の皆様と6人の奨学生



Buddha基金の皆様と村人

ブッダ基金は高校の教師の給料や給食費、2012年度にSLCに1stレベルで合格した3名の生徒(氏名:Pratima、Sabina と Laximi) の奨学金を支援して下さっています。ブッダ基金の皆様がサッレ村にも訪れ、村人や奨学生と面会されました。

ブッダ基金の皆様には継続してご支援を頂き、誠にありがとうございます。ブッダ基金の詳細な活動につきましては、ホームページでご覧になれます。<http://www.buddha-f.com/>

(6) 広報活動 ③…建物の建設費

2011年4月、石井氏のご寄付でカトマンズ郊外の Dharmasthali 地区に約 100 m²の土地を、現地のバル・ピパル奨学財団の名義で購入致しました。建物の一部を賃貸住居として人に貸す予定で、建設費用も石井氏にご寄付いただきました。3階建ての建物の建設がほぼ完成しています。隣地の建物と壁面が接していて、左半分の建物になります。賃貸収益によって、今後、現地の村人が寄付に頼らず自立してバル・ピパル学校の管理・運営を行えるようにすることが目的です。この様な機会を頂き、石井氏に誠に感謝しております。



購入した土地で建設中の建物(左側)

(7) 寄付金収入及び正会員数

お陰様で下記の事業収支計算書の通り、今年度は120万円の会費・ご寄付が集まりました。2012年度の正会員は17名です。定期的に毎年ご寄付して下さいの方々、新たに初めてご寄付して下さいの方々、皆様に感謝しております。

～ご支援のお願い～

バル・ピパル学校では幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教育を行っており、支援生徒数が301名になりました(表1参照)。SLCの合格率が高かったことで、周辺の村々の親達も子供の教育の必要性を理解し、今後の教育についても期待が膨らんでいます。皆様のご支援には、誠に感謝しております。また、これからも支援事業を続けていくために、どうぞ引き続き皆様のご寄付とご協力を宜しくお願い致します。

<お振込先>

郵便振替口座：00930-4-265848

口座名称：特定非営利法人 バル・ピパル奨学基金

<ご連絡先>

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

ホームページ・アドレス：<http://barpepal.com>

2013年12月 特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

第10期事業収支計算書

(2012年1月1日～12月31日)

(単位:円)

科目	決算額
I. 収入の部	
1. 入会金・会費収入	
正会員入会金収入	
正会員会費収入	150,000
2. 寄付金収入	
寄付収入	1,049,312
3. その他収入	
利息収入	251
当期収入合計(A)	1,199,563
前期繰越収支差額	1,325,303
収入合計 (B)	2,524,866
II. 支出の部	
1. 事業費	
1. 広報活動事業	23,195
2. 学用品支援事業	150,000
3. 奨学資金支援事業	100,000
4. 識字率向上支援事業	130,000
5. 書籍購入支援事業	180,000
6. 図書館設立支援事業	100,000
7. 学校運営支援事業	730,000
8. 資料の及び刊行事業	0
2. 管理費	
通信費	11,190
印刷費	0
消耗品費	1,196
雑費	500
振替手数料	6,880
交通費	0
3. 予備費	0
当期支出合計(C)	1,432,961
当期収支差額(B)-(C)	1,091,905
次期繰越収支差額	1,091,905